

平成26年度省エネ大賞地区発表大会

～受賞候補発表会～

必見！最新省エネ事例・テクノロジーを知るチャンス



主催：一般財団法人 省エネルギーセンター 後援：経済産業省

【実施内容】

企業等における省エネ活動推進や製品・ビジネスモデルの開発等に貢献できるアイデア、新たな省エネのヒント等が得られる「平成 26 年度省エネ大賞受賞候補発表会」は、平成 26 年度省エネ大賞応募 140 件の中から第 1 次審査を通過した受賞候補 72 件の公開審査を兼ねて東西 2 地区で開催するものです。先進性・独創性・普遍性の高い効果的な省エネ・節電事例や最新のテクノロジーを駆使した製品・ビジネスモデル等が一堂に会す貴重な機会でもあります。

【日時および場所】

1) 東日本地区

日時：平成 26 年 10 月 2 日(木)、3 日(金) 9 時 20 分～17 時 10 分

場所：科学技術館（東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号）

2) 西日本地区

日時：平成 26 年 10 月 9 日(木)、10 日(金) 9 時 40 分～17 時 30 分

場所：ドーンセンター（大阪府中央区大手前 1 丁目 3 番 49 号）

※ プログラムは次頁のとおり。

【参加料】

各地区共通。税込み。

1 日参加 6,000 円（資料付き）

2 日参加 8,000 円（資料付き）

※ センターの賛助会員・登録専門員・認定資格取得者及び団体申込（5 名以上の一括申込）に対して、別途割引を適用します。

【参加申込先】

参加のお申し込みや詳細は、一般財団法人省エネルギーセンターのホームページよりお願いします。
<http://www.eccj.or.jp/bigaward/result1410/index.html>

【問い合わせ先】

〒108-0023
東京都港区芝浦2丁目11番5号 五十嵐ビルディング 4階
一般財団法人 省エネルギーセンター
省エネ大賞事務局
Tel : 03-5439-9773, Fax : 03-5439-9777
E-mail : taisho@eccj.or.jp

平成26年度省エネ大賞 東日本地区プログラム

10月2日(木) 東京・科学技術館 9:20~17:10

9:00~ 受付開始					
9:20~ 開会 地区発表大会の説明					
目安時間	No.	時間帯	部門	応募テーマ名	発表者
9:30~	1	9:30	事例	埼玉製作所寄居完成車工場の省エネへの取組み	本田技研工業株式会社 埼玉製作所寄居完成車工場
	2	9:50	事例	省エネと投資低減を両立するツーリング革新技術の取組み	トヨタ自動車北海道株式会社
	3	10:10	事例	先進的な高効率コージェネレーションシステムによる省エネへの取組み	曙ブレーキ工業株式会社
	4	10:30	事例	全国194拠点における省エネ活動	三菱ふそうトラック・バス株式会社
10:50~ (休憩)					
11:00~	5	11:00	事例	ネジ焼き戻し工程廃止に伴う電力量削減	本田技研工業株式会社 トランスミッション製造部
	6	11:20	事例	鋳造部門 アルミ鋳造工程 溶湯温度低下抑制によるガス使用量削減	日産自動車株式会社 栃木工場
	7	11:40	事例	エネルギーアドバイザー制度の推進	イオン株式会社
	8	12:00	事例	足利赤十字病院 次世代型グリーンホスピタルの取組み	足利赤十字病院 株式会社日建設計
	9	12:20	事例	データセンターの省エネ活動	株式会社ビットアイル
12:40~ (昼食、休憩)					
13:30~	10	13:30	製品	フルカラーデジタル複合機「ApeosPort-V/DocuCentre-V C7775/C6675/C5575/C4475/C3375/C2275 シリーズ」	富士ゼロックス株式会社
	11	13:50	製品	デジタルフルカラー複合機「RICOH MP C2503/C1803シリーズ」	株式会社リコー
	12	14:10	製品	ドリームポリマー-TMIによる民生用及び産業用ボイラでの省エネ・節水対策	栗田工業株式会社
	13	14:30	製品	トイレ流水量のリモート最適化制御による節水省エネサービス AQUA-Remoni®	株式会社NTTファシリティーズ 株式会社木村技研
14:50~ (休憩)					
15:00~	14	15:00	製品	省エネ・節電サポートシステム「楽省!BEMS」	東京ガス株式会社
	15	15:20	製品	家庭用エコキュート「ESTIAプレミアムモデル」	東芝キャリア株式会社
	16	15:40	製品	新断熱構造採用「日立エコキュートPシリーズ」	日立アプライアンス株式会社
	17	16:00	製品	地中熱+空気熱ハイブリッド温水暖房システム「GeoSIS HYBRID(ジオシスハイブリッド)」	株式会社コロナ
	18	16:20	製品	家庭用 ハイブリッド給湯・暖房システム	株式会社ノーリツ
16:40~ (休憩・審査)					
16:50~ 優秀プレゼンテーション賞の発表 講評 閉会					

※1 事例:省エネ事例部門 製品:製品・ビジネスモデル部門

※2 当日の進行状況によって、時間を変更する場合がありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

10月3日(金) 東京・科学技術館 9:20～17:10

9:00～ 受付開始					
9:20～ 開会 地区発表大会の説明					
目安時間	No.	時間帯	部門	応募テーマ名	発表者
9:30～	1	9:30	製品	ルームエアコン「ステンレス・クリーン白くまくん」	日立アプライアンス株式会社
	2	9:50	製品	家庭用ルームエアコン『エコナビ搭載エアコン』Xシリーズ/XSシリーズ	パナソニック株式会社 アプライアンス社
	3	10:10	製品	家庭用エアコン「霧ヶ峰 Zシリーズ」	三菱電機株式会社
	4	10:30	製品	洗浄機能付自動運転レンジフード	パナソニックエコシステムズ株式会社 クリナップ株式会社
10:50～ (休憩)					
11:00～	5	11:00	製品	店舗・事務所用パッケージエアコン「Mr. SLIM 4方向天井カセット形 ファインパワーカセット」	三菱電機株式会社
	6	11:20	製品	熱回収効率に優れた冷暖フリービル用マルチエアコン「Ve-upIVRシ リーズ」	ダイキン工業株式会社
	7	11:40	製品	コンパクト型空調機 AJEC型 SmartAHU	新晃工業株式会社
	8	12:00	製品	低負荷対応空調制御システム搭載「高性能エアハンドリングユニット」	木村工機株式会社 株式会社日建設計 総合研究所
	9	12:20	製品	データセンタ向け省エネ局所空調システム「Ref Assist(レファシス ト)」	株式会社日立製作所
12:40～ (昼食、休憩)					
13:30～	10	13:30	事例	窓・ドア用部品製造での全ライン参加による省エネ・ピーク電力の削減	YKK AP株式会社 黒部越湖製造所
	11	13:50	事例	溶剤燃焼装置、排熱利用システムの開発	大日本印刷株式会社 技術開発センター
	12	14:10	事例	ボイラ給水脱気器(LY-V11)のスチーム使用量削減による省エネルギー	出光興産株式会社 千葉製油所
	13	14:30	事例	小径深穴あけ方式の改革に取り組んだ「ハーメチックボディー加工ライ ン」の電力削減	横河マニュファクチャリング株式会社 甲府工場
14:50～ (休憩)					
15:00～	14	15:00	事例	省エネサークル活動による工場の省エネ推進	レンゴー株式会社 八潮工場
	15	15:20	事例	省エネ活動とピーク電力の削減	リコーククリエイティブサービス株式会社
	16	15:40	事例	全社一丸、電力低減	日本電気株式会社
	17	16:00	事例	見える化を活用したテナントビルにおける空調デマンドレスポンス制御	森ビル株式会社
	18	16:20	事例	「自己託送」制度を活用したグループ16拠点のピーク電力抑制	富士フイルム株式会社
16:40～ (休憩・審査)					
16:50～ 優秀プレゼンテーション賞の発表 講評 閉会					

※1 事例:省エネ事例部門 製品:製品・ビジネスモデル部門

※2 当日の進行状況によって、時間を変更する場合がありますので、ご了承くださいませようお願いします。

平成26年度省エネ大賞 西日本地区プログラム

10月9日(木) 大阪・ドーンセンター 9:40~17:30

9:20~					受付開始	
9:40~					開会 地区発表大会の説明	
目安時間	No.	時間帯	部門	応募テーマ名	発表者	
9:50~	1	9:50	事例	全学のエネルギー需給に適した先進設備導入と全員参加によるスマートキャンパスの継続展開	国立大学法人三重大学	
	2	10:10	事例	大学における教育・研究のための実験装置等に関する省エネの推進	公立大学法人大阪府立大学	
	3	10:30	事例	宇土市民体育館への輻射式冷暖房システムの導入による省エネ化	宇土市 株式会社エコファクトリー 有限会社アール設備企画	
	4	10:50	事例	省エネルギー対策プロジェクトチームによる「攻めの省エネ」	浜松市	
11:10~					(休憩)	
11:20~	5	11:20	事例	エネルギー供給のジャストインタイム化と見える化による省エネ活動及び電力平準化の取り組み	トクラス株式会社	
	6	11:40	事例	電力監視システムによる電気エネルギーの見える化	住友金属鉱山株式会社 磯浦工場	
	7	12:00	事例	人の力・機械の力のベストミックスで省エネ活動 ~電気編~	金剛化学株式会社	
	8	12:20	事例	“液晶工場復活”に向けた省エネ活動の取り組み	シャープ株式会社 亀山工場	
12:40~					(昼食、休憩)	
13:30~	9	13:30	製品	高効率LED照明	日立アプライアンス株式会社	
	10	13:50	製品	Only One技術搭載LED照明	東芝ライテック株式会社	
	11	14:10	製品	大型トラック用電動冷凍機	株式会社デンソー	
	12	14:30	製品	100%石油外天然資源タイヤ「エナセーブ100」	住友ゴム工業株式会社	
	13	14:50	製品	浄化槽本体に再生プラスチックを使用した高度処理省エネ型浄化槽	大栄産業株式会社 株式会社ダイキアクシス	
15:10~					(休憩)	
15:20~	14	15:20	製品	冷凍冷蔵庫「新・真空チルド」シリーズ	日立アプライアンス株式会社	
	15	15:40	製品	省エネ冷凍冷蔵庫「クリアガラスドアシリーズ」	東芝ライフスタイル株式会社	
	16	16:00	製品	家庭用冷凍冷蔵庫『プラズマクラスター冷蔵庫』	シャープ株式会社	
	17	16:20	製品	ポンプdeエコ	株式会社西島製作所	
	18	16:40	製品	低放射遮熱効果による省エネ対策方法について	中外商工株式会社	
17:00~					(休憩・審査)	
17:10~					優秀プレゼンテーション賞の発表 講評 閉会	

※1 事例:省エネ事例部門 製品:製品・ビジネスモデル部門

※2 当日の進行状況によって、時間を変更する場合がありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

10月10日(金) 大阪・ドーンセンター 9:40~17:30

9:20~ 受付開始					
9:40~ 開会 地区発表大会の説明					
目安時間	No.	時間帯	部門	応募テーマ名	発表者
9:50~	1	9:50	製品	太陽光照明システムによる環境負荷低減とその販売ネットワークづくり	株式会社井之商
	2	10:10	製品	太陽熱利用給湯システム「ツインパワー給湯器」	エナテックス株式会社
	3	10:30	製品	気候変動(大雪・大雨・暑熱)対応E3ロードの開発	株式会社ホクスイ設計コンサル 北海道立総合研究機構
	4	10:50	製品	高性能トリプルガラス樹脂窓 APW430	YKK AP株式会社
11:10~ (休憩)					
11:20~	5	11:20	製品	超細繊維高断熱グラスウール「アクリアα」シリーズ	旭ファイバーグラス株式会社
	6	11:40	製品	“一部屋単位”の手軽な新発想断熱エコリフォーム「ココエコ」	株式会社LIXIL
	7	12:00	製品	防犯ツインLow-Eトリプル樹脂サッシ ジオサーマル式ロスガード90	株式会社一条工務店
	8	12:20	製品	ゼロエネルギー住宅「グリーンファーストゼロ」	積水ハウス株式会社
	9	12:40	製品	コンビニエンスストア建築システム「D's OPT(ディーズ オプト)」	大和ハウス工業株式会社
13:00~ (昼食、休憩)					
13:50~	10	13:50	事例	震災対応、省エネ、環境配慮を織込んだ福利厚生施設	アイシン高丘株式会社
	11	14:10	事例	社会福祉法人による複数老人福祉施設のZEB化設備更新	社会福祉法人岡山中央福祉会 備前グリーンエネルギー株式会社
	12	14:30	事例	大阪ガス北部事業所でのグリーンガスビル活動の実施 行動観察を利用した省エネ改修	大阪ガス株式会社
	13	14:50	事例	システム見直しによる省エネ設備導入と燃料転換	株式会社たらみ 小長井工場
15:10~ (休憩)					
15:20~	14	15:20	事例	太陽電池シリコンウエハスライス工場における全員参加による省エネ活動	株式会社TKX
	15	15:40	事例	ボイラーへのヒートポンプ設備導入による廃熱利用	東洋鋼板株式会社
	16	16:00	事例	廃熱回収熱風ヒートポンプによるラミネート乾燥の省エネ化	須田産業株式会社 日本電技株式会社
	17	16:20	事例	グラスライニング用ガス炉の燃焼調整による省エネ	株式会社神鋼環境ソリューション 播磨製作所
	18	16:40	事例	機関車アイドリングストップシステムの開発	神鋼物流株式会社 加古川事業所
17:00~ (休憩・審査)					
17:10~ 優秀プレゼンテーション賞の発表 講評 閉会					

※1 事例:省エネ事例部門 製品:製品・ビジネスモデル部門

※2 当日の進行状況によって、時間を変更する場合がありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

一般財団法人省エネルギーセンターの概要

1. 法人格 : 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第3条
2. 代表者 : 会長 藤 洋作
3. 設立 : 昭和 53 年(1978 年)10 月 16 日
4. 賛助会員 : 約 2,400 事業所(電力、ガス、鉄鋼、石油、化学、紙パ等)
5. 設立目的 : 産業、民生、運輸部門の省エネルギー対策の中核的推進機関
6. 主な事業
 - 1) 工場、ビル、店舗等施設の省エネ・節電推進、CO₂ 削減
工場、ビル等の省エネ診断指導・調査・分析
省エネ・節電対策事例、最新技術等の情報提供
CO₂ 削減のための対策支援
「省エネ大賞」の表彰
展示会(ENEX 地球環境とエネルギーの調和展)の開催
 - 2) 家庭、地域等における省エネ活動の支援
地域における省エネ実践行動の支援
省エネ機器の情報提供
「省エネナビ」の普及促進
「家庭の省エネ大事典」等による省エネ・節電行動の幅広い情報提供
 - 3) 省エネ関連人材の育成・活動の支援
省エネ・節電に関する技術講座、出前講座などによる省エネ関連人材の育成
当センター独自の認定資格による人材育成支援
「ビル省エネ診断技術者」、「家庭の省エネエキスパート検定」、「エネルギー診断プロフェッショナル」
出版(月刊「省エネルギー」誌、単行本の発刊)による省エネ情報提供
省エネ推進活動グッズ等による省エネ実践行動の普及
 - 4) 省エネ国際協力の推進
専門家の派遣、海外研修生の受け入れ
海外省エネ技術協力・調査・情報交換
省エネ国際ビジネスとの連携
国際規格 ISO50001 審査員評価登録機関の制度運営
 - 5) 国家資格エネルギー管理士試験等の実施
省エネ法に基づく「エネルギー管理士」国家試験・研修、エネルギー管理講習の実施
7. 所在地
 - 本 部 : 東京都港区芝浦 2 丁目 11 番 5 号 五十嵐ビルディング 4 階、5 階
Tel: 03-5439-9710
 - 支 部 : 札幌市、仙台市、名古屋市、富山市、大阪市、広島市、高松市、福岡市

以上